

伯耆町が進める

「保小中一貫教育」とは

——子ども達の「15歳の出口」の姿を見通して

前は、「伯耆Ⅰ学習」の基本的な考え方についてお伝えしました。
今回は、現段階で想定されている学習内容についてお伝えしたいと思います。

「伯耆Ⅰ学習」の

全町共通単元とは？

学年	単元名	主な活動	育てたい 資質・能 力・態度
小学3年生	ふるさと探検隊（仮題）	校外学習を通して、校区の「宝物」を見つけ、まとめて発表する。	○必要な情報の収集・整理 ○課題の解決に向けた計画と実行 ○協働して課題を解決すること

この表は「伯耆Ⅰ学習」の1つの例を示したものです。「ふるさと探検隊」になった子どもたちは、校区の「宝物」を見つけるために、そもそも「宝物」とは何なのかを自分なりに考えて、どこでどのように調べたらいいのか計画を立て、実際に現地に行き見て聞いたりして調べていきます。そして、調べたことをまとめて、その「宝物」のよさが分かるように友だちに説明していきます。一見すると子ども任せのようですが、教師は助言や支援を通して「育てたい資質・能力・態度」を育てて評価していきます。これが「伯耆Ⅰ学習」の基本的な流れです。

小学3年生～中学3年生の総合的な学習の時間に、各学年で年間2つずつの学習を計画し、全ての学校で取り組んでいくことにしています。これを「全町共通単元」と呼んでいます。「伯耆Ⅰ学習」では、全町共通単元に2つの系統を考えています。1つは「生き方学習」といって、人権学習や進路学習等を主な内容としています。もう1つは「地域学習」

といって、ふるさと伯耆町について学ぶことを主な内容としています。これから検討を加えて修正はあると思いますが、現在のところ、次のような内容を原案としてカリキュラムづくりを進めています。
次回は、「15歳の出口」に向かって、子どもたちの発達モデルをどのように考えているのかについてお伝えします。

学年	生き方学習	地域学習
小学3年	いろいろな人と関わろう （コミュニケーション・トレーニング）	ふるさと探検隊
小学4年	1/2成人式をしよう	いのちを守れ大作戦（防災）
小学5年	平和な世界へ （広島修学旅行事前学習）	伯耆町自然遺産を選ぼう
小学6年	差別を許さない町 伯耆町（人権）	伯耆町文化遺産を選ぼう
中学1年	人にやさしい町 伯耆町（福祉）	「伯耆町検定（仮称）」の問題を作り実施しよう
中学2年	職場体験学習から見た働くこと	職場体験学習から見た伯耆町
中学3年	私の進路選択	私たちの町、みんなが住みたい伯耆町（伯耆町のよさを情報発信）